

書庫からの便り①

資料室

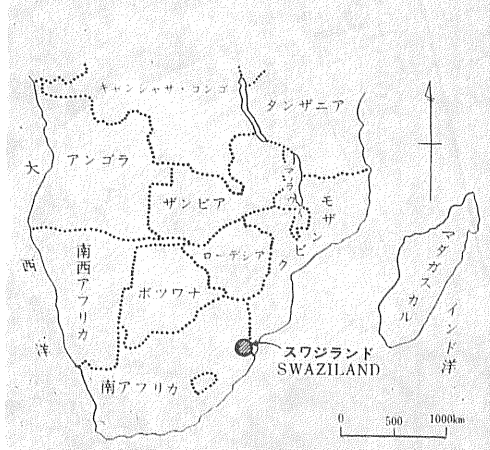
蔵書総数ほぼ10万冊 地質関係でいえばわが国最大しかもとびぬけて大きい地質調査所の書庫から「地質ニュース」の読者のみなさんへ毎回便りを差し上げることになりました。それはたとえば現在文献を交換している国が100ヵ国に達しているというのに(第1表)地質調査所内はともあれ 所外にはまだまだ知られていないからです。そこで 地質調査所の印刷物の中でもっとも発行部数が多く 非常によく読まれているこの「地質ニュース」の紙面をかりて まず 知っていただくために筆をとる次第です。

最初に 今年から交換が始まった幾つかの国の文献から紹介することになります。

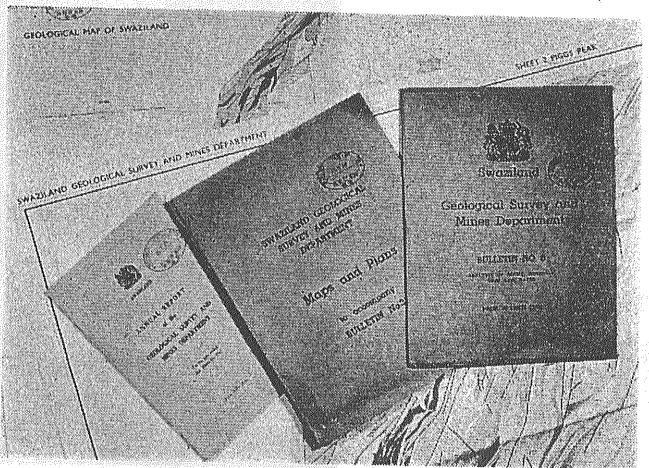
スワジランド (Swaziland) (第1図): アフリカ南東の小さな陸地国の Geological Survey and Mines Department の出版物(英文) すなわち「Annual Report of the Geological Survey and Mines Department」1960~1968計9冊 それに同 Bulletin の No. 1 (1961)~No. 6 (1966) 計6冊と関係地質図 鉱産図 さらに 1:25,000の地質図「Hhohho (Sheet 1)」と「Piggs

Peak (Sheet 2)」 1:250,000の全国地質図が到着しました。Annual Report の方は 当該暦年における調査計画・調査状況・鉱物開発および鉱山の現況 生産統計が報告されていますが とくに1960年のものには Usushwana 複合岩体中の銅・ニッケル鉱床と Komati 川 Havelock 地方の火成複合岩体について興味深い論文が寄せられています。一方 Bulletin の方は No. 1 と No. 3・No. 4が地質 岩石 鉱床の論文集 No. 2がよくまとめられた全国鉱産誌(A4版111P 写真8葉付図多数)で その道の人であればきっと興味深く手にされるものと思います。No. 5は先の Usushwana 火成複合岩体に関するモノグラフ No. 6は Swaziland の代表的な373の岩石・鉱石・鉱物・水・温泉の分析表です。地質図はご覧になったらきっと「ほう よくやったな」とつぶやかれるに違いないものです。せめて一度は手にして 批判的に検討して欲しいと思っています。

リビア (Kingdom of Libya) (第3図): 工業省と文献交換が始まり まず Geological Section Bulletin の No. 4・No. 5・No. 7が入りました(第3図)。No.



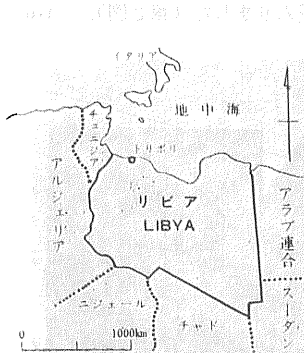
第1図 スワジランド位置図



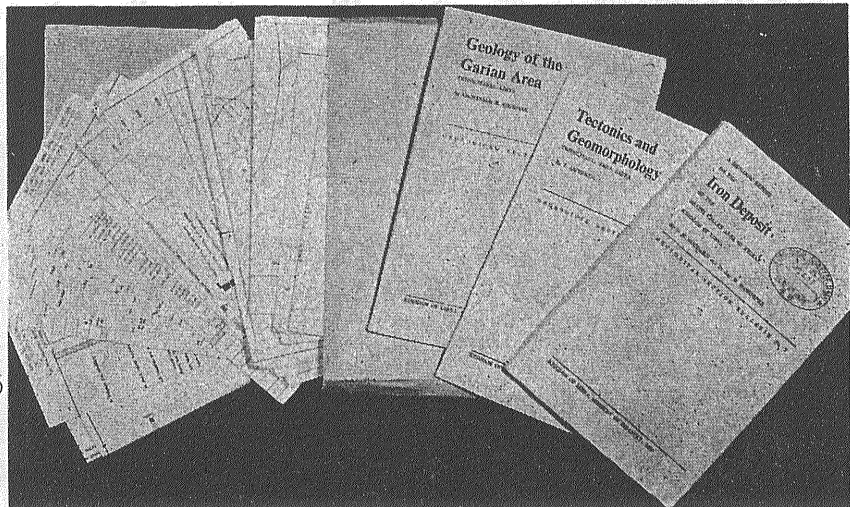
第2図 スワジランド (Suaziland) の出版物

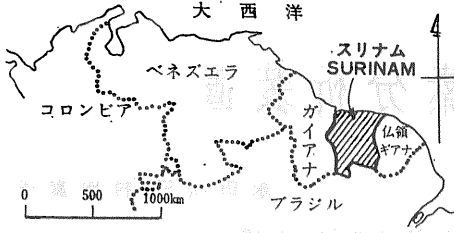
第1表 文献を交換し合っている国々

<b>EUROPE</b>	Albania	Republic of Viet-Nam	<b>N. &amp; C. AMERICA</b>
United Kingdom	Yugoslavia	<b>AFRICA</b>	Canada
Ireland	Bulgaria	Tunisia	Mexico
Federal Republic of Germany	Romania	Libya	Guatemala
German Democratic Republic	<b>ASIA</b>	United Arab Republic	El Salvador
Austria	People's Republic of China	Sudan	Nicaragua
Czechoslovakia	Hong Kong	Ethiopia	Costa Rica
Poland	Democratic People's Republic of Korea	Morocco	Cuba
Hungary	Republic of Korea	Algeria	Jamaica
France	Republic of China	Senegal	U. S. A.
Italy	Saudi Arabia	Sierra Leone	<b>S. AMERICA</b>
Spain	India	Ghana	Brazil
Portugal	Nepal	Togo	Argentina
<b>USSR</b>	Ceylon	Nigeria	Chile
Latvian SSR	Pakistan	Cameroon	Peru
Belorussian SSR	Iran	Republic of the Congo	Colombia
Ukrainian SSR	Turkey	Angola	Ecuador
Georgian SSR	Cyprus	Democratic Republic of the Congo	Venezuela
Azerbaijanian SSR	Syria	Uganda	Surinam
Armenian SSR	Israel	Somalia	French Guiana
Finland	Asiatic USSR	Tanzania	Uruguay
Norway	Kazakh SSR	Mozambique	<b>OCEANIA</b>
Sweden	Uzbek SSR	South Africa	Indonesia
Denmark	Burma	Botswana	Malaysia (Sarawak)
Netherlands	Thailand	Swaziland	New Zealand
Belgium	Malaysia (Malaya)	Rhodesia	New Caledonia
Switzerland	Singapore	Zambia	Australia
Greece		Malawi	Fiji
		Madagascar	



第3図 リビア (Kingdom of Libya) の位置図と文献類



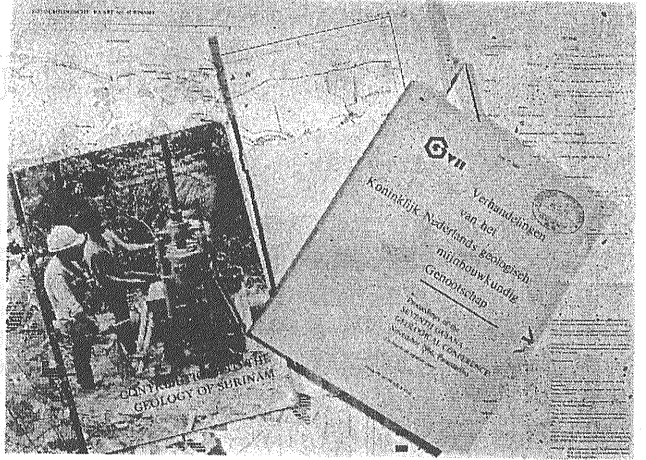


第4図 スリナムの位置図とスリナムに関する文献

4 (1968) は「Tectonics and Geomorphology, Tripolitania Area, Libya」と題され Tripoli 地区の構造地質と その地形との関係を大まかに知る上で役立つでしょう。同 No. 5「Geology of the Garian Area, Tripolitania, Libya」(1966) は Tripoli 南方の地質を深部試錐の結果にもとづいてまとめたものであり No. 7の「A geologic report on the Iron Deposit of the Shatti Valley area of Fezzan, Kingdom of Libya」(1968) は石炭紀の鯛状赤鉄鉱・赤鉄鉱シルト岩とその周辺の地質を調査した報告で この巨大な堆積性鉄鉱床の規模・品位については最新のデータかと思われます。以上すべてが英文です。

スリナム (Surinam) (第4図) : 同じく新たに交換が始まった Surinam から到着したのが K/Rb 法・<sup>87</sup>Sr/<sup>86</sup>Sr 法・K/Ar 法を用いて最大  $(2,125 \pm 100) \times 10^6$  年の数字がみえる英文の報告「Isotopic age determinations on Surinam rocks」2 (1967)・3 (1968)・4 (1968) の3冊 (Mededeling, Geologisch Mijnbouwkundige Dienst van Suriname 16・18・19 又は Geologie en Mijnbouw の別刷) とこの絶対地質年代の測定結果と重力分布・地磁気・古磁気・地質の全土にわたる調査・測定結果を基調に構造解析を試みた287ページにおよぶ英文の「Gravitational and geomagnetic investigations in Surinam and their structural implications」(1968) (Med. 17) 層位・構造地質・火山岩・写真地質をはじめポーキサイト・マンガン・水資源にいたる英文の論文集「Contribution to the geology of Surinam」(1969) (Med. 20) 1966年11月21日から同25日まで Paramaribo で開かれた第7回 Guiana 地質学会総会での講演集「Verhandelingen van het Koninklijk Nederlands geologisch mijnbouwkundig Genootschap」(1969) (Verhandelingen, Kon. Nederlands Geol. Mijnb. deel 27) (大部分が英文 1部が仏文) です。この中でとくに写真地質による Surinam 全土を蔽った1:1,000,000 地質図は やはり一見以上に値するものと思われます。

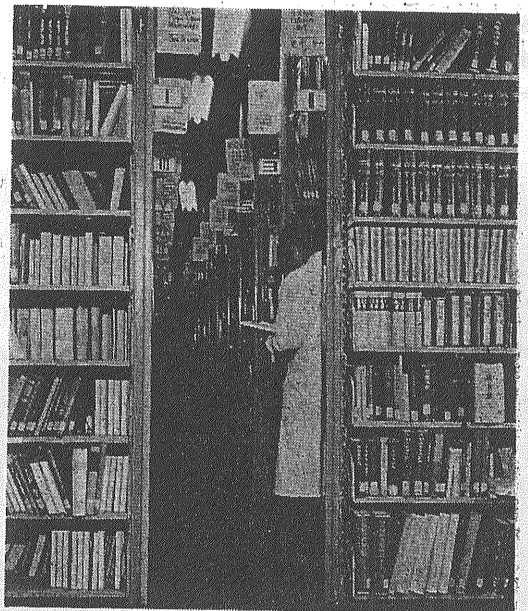
さて 所外の方々が地質調査所の資料類を利用される



場合の方法について お知らせしておきます。利用方法をご存じないためにお困りの向もあるようですから。

資料類の所外貸出はいたしておりませんが おいで下されば 所員の紹介は必要としますが 閲覧できます。資料類は貸出になっている場合が多く 直接おいで下さっても無駄足になることがありますので おいでになる前に (044)86-3171 (地質調査所 資料室) に電話されるのが一番良い方法です。

地方在住の方は 支所出張所にご相談下さい。複写サービスは致しておりませんが 日本科学技術情報センター複写課に申し込まれば 複写ができます。



書庫の一部